

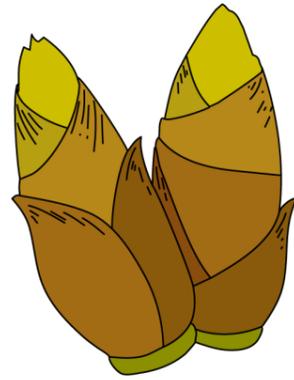
はや公民館だより

平成27年4月号 No. 379

発行：芳養公民館 館長：泉 京子 主事：中原 健次

住所：田辺市芳養松原一丁目15-8

TEL：22-1429 FAX：23-1909



第9回 芳養川グラウンドゴルフ大会 参加者募集！

芳養谷（芳養・中芳養・上芳養）の交流大会として、下記内容のとおり、第8回芳養川グラウンドゴルフ大会を開催します。

ルールも簡単で、初めての方でも楽しめますので、大勢の皆様のご参加をお待ちしております。

- 【部 門】男女混合の部
- 【日 時】平成27年4月19日（日）
※雨天等により延期の場合4月26日（日）
○受付 午前8時30分
○開会式 午前8時45分
○競技開始 午前9時



- 【場 所】芳養小学校グラウンド
- 【参加資格】芳養谷地区在住者で、1チーム4人で申込んでください。
- 【参加申込】4月15日（水）までに必要事項（チーム名・代表者氏名・代表者連絡先・選手名）をご記入の上、芳養公民館または、上芳養公民館までお申込みください。
※申込用紙は、芳養公民館・上芳養公民館にあります。様式は問いませんので、他の用紙に記入しても結構です。雨天中止・延期等は代表者に連絡しますので、代表者はメンバーへの連絡をお願いします。（午前7時に決定）
- 【問合せ先】芳養公民館 TEL：22-1429 FAX：23-1909
上芳養公民館 TEL：37-0001 FAX：37-0943

4月の古紙回収日【毎月第1・3火曜日】

4月7日（火）・21日（火）

- ◎午前中に、芳養公民館前に出して下さい。
- ◎雑誌、新聞、ダンボールの3種類に分け、必ず紙ヒモでくくって出して下さい。



※回収日以外は、回収できませんので出さないで下さい。

第14回 芳養しおさいまつり開催！

今年も、芳養新漁港で「芳養しおさいまつり」が開催されます。軽トラック市での物販・食料品販売や、芳養湾クルーズによる漁船試乗体験が出来る他、紀の国わかやま国体のPRできいちゃんの国体ダンス、南紀こどもステーションソーラン団による「よさこい踊り」、明洋中学校吹奏楽部による演奏など様々な催しも行われます。



最後には景品が当たるジャンケン大会も実施されますので、お誘い合わせの上ご参加ください。

- 【日 時】平成27年4月25日（土） ※荒天中止
8時～12時
- 【会 場】新芳養漁港
- 【予定イベント】軽トラック市、芳養湾クルーズ、キャスティングゲーム、しおさい横丁
紀の国わかやま国体PR、南ステソーラン団による「よさこい踊り」
明洋中学校吹奏楽部による演奏

芳養ふれあい教室や公民館活動の協力者を募集しています！

芳養公民館では、自分の趣味や様々な知識、豊かな体験や経験を生かし、芳養ふれあい教室の講師や講師のサポートとしてご協力いただいたり、公民館の講座等での講師や小・中学校の教育活動などのお手伝いをボランティアでしていただける方を募集しています。

■人材バンクの登録にあたって知っておくことは？

1. 登録の申込みについては、特定の資格などの条件はありません。
2. 登録者の募集・変更・取消しは随時行っています。
3. 登録の有効期間は年度末（3月31日）までとし、更新に制限はありません。
4. ご登録いただいた場合でも、必ずしも登録者全員にご協力をお願いできるとは限りませんので、ご了承ください。
5. 協力をお願いする場合には、事務担当からその都度連絡させていただきます。

芳養地域『人材バンク』登録申込書

氏 名		電話番号	
住 所			

①講師、②協力者のどちらかを○で囲み、登録をお願いします。

①. 講師として人材バンクに登録します。

講師として教えていただける内容をお書きください。（いくつでも結構です。）

②. 協力者(活動のお手伝い)として人材バンクに登録します。

芳 養 小 学 校

芳養っ子51名巣立つ

平成27年3月23日、本校体育館におきまして、田辺市立芳養小学校の平成26年度第141回卒業証書授与式を挙行いたしました。大勢のご来賓、保護者、在校生、教職員に祝福される中、51名の子ども達が希望を胸に芳養小学校を巣立って行きました。

このように立派に卒業生を送り出すことができましたのは、保護者・地域の皆様方のお力添えがあつてのことです。これまで、いつも子どもたちを見守って頂くとともに、日頃より物心両面でのご支援のお陰だと痛感し、心より厚く感謝申し上げます。

今日卒業する君たちへ

「勉強し働くということ」 ～自分と家族と世の中のために～

校庭の桜がほころびはじめ、春の訪れを感じる今日の良き日、芳養小学校を卒業される51名の皆さん、卒業おめでとう。保護者の皆様方には、子どもたちの健やかな成長を願い、これまでお育て下さり、お喜びもひとしおのことと存じ、心からお祝い申し上げます。

さて、皆さん一人一人に、今日、卒業証書をお渡ししました。

この卒業証書には、「小学校の全課程を修了したことを証する」と書かれています。小学校6年間のすべての勉強が終わったという証です。卒業証書を手にして、6ヶ年の歳月を思い起こし、ここまで成長したことの喜びを噛みしめていることでしょう。

私は、本校に着任して2年しか経っていませんが、これまで、みなさんの頑張りと成長を見て参りました。活き活きとした授業での姿や、年下の友達をリードしながら学校全体を引っ張っていく姿、「絆を深め 心をついに 思い出残る運動会」での輝きや、委員会活動・クラブ活動での活躍など、本校の最高学年としての皆さんの頑張りが走馬燈のように思い出されます。特に、運動会の組体操で取り組んだ「芳養の宝」の数々、地域の皆さんに多くの感動を残してくれました。

また、郡水泳大会や郡陸上競技大会では、持てる能力に努力を加え、これまでにない程の入賞者を生み出し、「芳養小学校ここにあり！」芳養の心意気を見せてくれました。

本校の校訓「健・考・和」を考えた時、君たちはいつも、たくましい子であり、かしこい子であり、やさしい子でありました。まさに、伝統ある本校の第141回卒業生にふさわしく、これまでのあなた方のまとまりと頑張りに校長先生は本当に感謝しています。

それでは、巣立ち行くみなさんに、最後のメッセージをします。

私はいつも、君たちが大人になったらどのような時代になっているのか、思いを巡らします。そして、どのような世の中になっても、一人ひとりがたくましく豊かで幸せであってほしいと願います。明らかなのは、いつの時代でも人は一人では生きていけず、人と関わりながら多くの経験を積み重ね成長するということです。ですから、周りの人々に愛され、また自分自身を愛しながら未来に向けて歩いて行ってほしいと思います。

さて、人はなぜ、また何のために勉強し、働くのでしょうか？そして、立派な人間とは、どのような人なのでしょう？私は次の3つだと思います。

一つは、命と生活を守れる人です。

親がくれたかけがえのない命、世界でたった一つの命。その命を大切にしながら、精一杯働いて、自分と家族の生活を守れる人です。

二つ目は、自分（個性や良さ）を磨き続ける人です。

哲学者のマルチン・ブーパーという人は、「人は始めることを忘れない限り、いつまでも歳は取らない」と言いました。世の中には、いくつになっても、いつも伸びることを考え、新しい何かを始めようとしている人々がたくさんいます。素敵なことだと思います。皆さん一人ひとりには、みんな違う個性というものがあります。自分を磨き、良さをいついつまでも伸ばしてください。

そして、最後三つ目は、社会に貢献する人です。

阪神・淡路大震災から今年で20年、そして、4年前の3月11日の東日本大震災、日本人として決して永遠に忘れることのない出来事です。当時、若者が地域のために一生懸命汗を流したと聞いています。両手のバケツに水を一杯はり、マンションの階段を駆け上がりました。人は苦しいとき程、人の優しさが身に染みますし、みんなが支え合い助け合い、信頼し合って頑張るものです。まさに人と人との絆ですね。人のため社会のために、精一杯頑張れる人になってください。

そして、苦しい時、つらい時には、この芳養の山や川、校舎や運動場、教室、友の顔や地域の人々を思い出して下さい。きっと、思い出とともに心の支えとなつて、勇気とエネルギーを生み出してくれると思います。この先どこにいても、この芳養というふるさとを忘れないで下さい。これからふるさとを愛し、人々を愛し、この学校を愛し続けてくれることを心から願っています。

さあ、卒業生のみなさん、志を高く持って、大きく羽ばたいてください。

みなさんの今後の輝ける人生に心から声援（エール）を送ります。

最後ですが、保護者の皆様方、地域の皆様方、これまで至らないことばかりだったと思いますが、本校学校教育にご理解とご協力・多大なご尽力頂きましたことに心より感謝申し上げます。

（H27.3.23 卒業式 式辞より抜粋）

大 坊 小 学 校

3名の6年生卒業おめでとう

夢に向かっていよいよ新たな出発の時

15名の在校生も学年の課程を修了しました

田辺市立大坊小学校

春の息吹を感じる佳き日、大坊小学校より3名の6年生が遅しく巣立ちました。平成26年度第45回卒業証書授与式は、平成27年3月23日に行われました。

多くのご来賓・保護者の皆様方、在校生、教職員の祝福を受けながら、3名は小学校教育の課程を終え、無事に卒業を迎えることができました。無邪気で幼かった低学年時、明るく活発だった中学年時、そして真のリーダーとして活躍した高学年時の計6年間で3人でしっかりと力を合わせ勉強や各種学校行事等に励んできました。

特に、6年生としての1年間は、どの場面においても、下級生の牽引役として立派に責任を果たし、みんなから厚く信頼されていました。縦割り班で、児童会で、学校行事で常に笑顔を決やさず、最後までねばり強く頑張ってくれました。

しかし、卒業生の皆さんにとってこの6年間の道のりは、決して良いことばかりではなかったと思います。友達関係で悩んだりして、自分自身を失いかけたり、勉強が思うように進まなかったりしたこともあったのではないのでしょうか。でも、このような「苦しみや悲しみの先にこそ、それぞれの光がある」と思います。今まで、いろいろな経験を重ね、そばで支えてくれた先生方、友達、家族の方々、地域の皆様方がいたからこそ、頑張ることができ、今ここに成長できた皆さんがいるのです。過去はかえられません。これから先の皆さんの未来には無限大の可能性が広がっています。しっかりと自分を見つめて、夢や目標に向かって努力していつてくれることを心から願っています。そして、この大坊小学校で学んだことを土台にして、自分らしく、誇りと自信を持って中学校生活を送って下さい。活躍を心から期待しています。

尚、この子たちの6年間をずっと支えて下さった保護者や地域の皆様方にも心より深く感謝申し上げます。

24日には、平成26年度の修了式を行いました。15名の在校生が、それぞれの学年の修了証書を受け取り、4月から上学年に進級します。1年間でまたひとつ成長した子どもたちにも温かい拍手を贈りたいと思います。

卒業生から一言

■ぼくの将来の夢は、レースカーのメカニックになることです。レースで勝てるように、車の整備や改良をする人です。それは、「スーパーGT」というレースの映像を見たことがきっかけです。ピットでタイヤの交換や給油をしているメカニックの、素速く確実な動きにあこがれました。自分には、レーサーよりもこっちの方が向いていると思いました。レーサーから信頼され、チームを優勝に導けるメカニックになりたいです。（宮崎瑠那）

■ぼくの将来の夢は、自動車の整備士になることです。それは、父の影響です。父は整備士の免許を持っていて、家でエンジンの調子を見たりタイヤ交換をしたりすることがあります。その様子を見て、かっこいいなと思ってきました。ぼくも作業を手伝うことがあって、そんなときは、あこがれの整備士に近づいた気がしてうれしくなります。自動車のことを勉強して、お客さんに信頼される整備士になりたいです。（山崎翔大）

■わたしの将来の夢は、いろいろあるのですが、そのうちの1つは「本の作家になる」ということです。わたしは、本を読むことが大好きです。今までたくさんの本を読んできました。すごくいい本に出会って、価値観や考え方が変わったこともありました。もし私が作家になれば、人を楽しませたり、感動させたりできる本を書きたいです。そして、本ぎらいな人にも楽しんでもらえるようにしたいです。（船山月南）

平成27年度入学式と1学期始業式は4月8日（水）

午前10時30～大坊小学校講堂にて

新1年生は男女各1名の計2名です。元気に入学してくれることを楽しみにしています。全校児童数は平成27年度は17名の予定です。学校がまた笑顔に包まれますよう、皆さん、新年度もご支援宜しくお願い致します。

明 洋 中 学 校

『自分を客観視できる力』

学校長 佐 武 正 章

桜のつぼみも膨らみ始め、春の訪れを感じさせる良い季節となりました。

本日、明洋中学校を巣立つ106名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして、保護者の皆様、立派に成長されたお子様のご卒業おめでとうございます。義務教育9年間の修了を心からお祝い申し上げます。

卒業生の皆さんは、この3年間、保護者や地域の皆さんに支えて頂きながら、仲間と共に励まし合い、時には苦しさに耐え、喜びに心躍らせながら諸先生方の指導のもと、心と体を鍛え成長しました。皆さんの姿は、いつも明るく生き生きとしていました。

さて、皆さんと一緒に過ごした中での印象や思い出を少し述べたいと思います。

一つ目は、1年生の時から今日まで、授業や集いで話を聞く態度や姿勢が素晴らしく、全体として浸透していることに感心してきました。このことは、下級生の本当によい手本となりました。また、集中して体育行事や修学旅行等に取り組む姿は、1組から3組までどのクラスも立派なものでした。

二つ目は、集団の決まりやルールを大切にしたり、冬の寒い日も夏の暑い日も根気強く部活動に励んだりして、日々の練習や演奏・作品づくりに打ち込んだことです。各体育クラブの熱心な練習や文化クラブの素晴らしい活動、教科で学んだ取り組みを通じて、最後までやり通す忍耐力と自信が身につけてきたように感じます。このことは、吹奏楽の各種コンテストや作曲コンクール、各種作文・俳句・絵画の作品が最優秀や入賞したり、学校全体で取り組んだ駅伝大会も連覇を果たすなど数々の好成績につながりました。

三つ目は、日頃の学習や練習等の成果を存分に発揮し、各諸行事を見事に成功させてきたことです。先ず文化発表会です。中でも、恒例の3年生による劇団明洋の演劇「キケン（棄権）」は、会場全体を感動させました。保護者や地域の方々からは「思いやりの心が溢れた素晴らしい演劇でした」との高い評価を頂きました。また、私たちの大先輩である東京オリンピック金メダリストの早田卓次さんの講演では、夢や目標に向けて、日々努力し続けることの大切さを学びました。特に、74歳の早田さんへの逆立ちには驚きました。他にも、3年生が夏から取り組んだ「熊野古道語り部の英語発表」を郡や県の英語発表会でも披露したり、韓国教職員31名に紹介したりしました。それ以外にも花植えボランティア、避難訓練、公民館との共催行事、児童館との連携行事、校区の幼稚園や保育所訪問など、どれも学校と地域を結ぶ学社融合の素晴らしい取り組みで、自分たちも地域に貢献していることを体感する機会になりました。

さて、ここで卒業生の皆さんに、励ましの言葉を贈りたいと思います。

皆さんもご存知の、ソチオリンピックで金メダルに輝いたフィギュアスケートの羽生結弦選手は、次のように言っています。「オリンピックに臨むときは、気分が高ぶっているけれど、高ぶっている自分を客観視できる自分もいます。」また、「僕は4回転ジャンプを飛ぶ直前に、頭の中に成功する軌道のイメージが湧いて、そこに身体を乗っけて飛ぶのです。」と。

また、早田選手も、東京オリンピックのつり輪種目で最後のフィニッシュを決める前に、自分の完璧な着地をすでに頭に描いていたそうです。だから自信を持って決めることができたとのこと。皆さんは、自分の姿や行動を客観的に見ることが出来ますか。

自分を客観視できる能力のことを「メタ認知」といいます。ものごとを客観的に見る力は、脳の前頭葉の働きによって決まるそうです。前頭葉は両耳を頭のとっぺんで結んだ線の前側の部分にあります。人間は他の動物と比べて、この前頭葉が発達しているのが特徴だそうです。そして前頭葉を鍛えることで、冷静にプランをたてる、目標を定める、人間関係を円滑にする、未来を構築するといったことに力が発揮できるようになるそうです。

人は、ついつい自分の考えや行動は正しいのだと思い込んだり、自分だけがつらく苦しい思いをしているのではと悩んだりしますが、果たしてそうでしょうか。自分自身を第三者の目で鳥瞰してみると、自分の独りよがりや周囲に支えられていること、頑張っている自分に気づくのではないのでしょうか。

卒業生の皆さんも、脳に描いた最高の瞬間やイメージを現実化できるよう、日々の努力を大切に、次の環境でも自分の可能性や何か新しいことに挑戦して欲しいと願います。

在校生の皆さんは、これまで卒業生の皆さんが残してくれた伝統と校風を立派に受け継ぎ、明洋中学校をさらに発展させていきましょう。

卒業生の皆さんの遅い成長とご多幸、そして益々のご活躍を心からお祈りします。